

「ふなばたのつどい」に参加して

本イベントは、帆船日本丸友の会主催で「ミニクルーズ」「座談会」「懇親会」の豪華三本立て、3月12日（日）に開催された。合唱団からの参加者は、稲垣氏、丸山（一）氏・鶴野氏・鈴木（重）氏および小生の計5人。



まずは、いつもの練習場裏の「日本丸棧橋」から「かなもえ」に乗船。この船では全席救命胴衣を着用。カヌーを楽しむ人たちを横目に、自動車道の下をくぐり、大岡川を登る。たくさんの橋を裏側から眺め、飲み屋やラブホを川から見る。桜川橋、都橋、長者橋、旭橋、黄金橋、末吉橋、太田橋、

等々と由緒ある名前。特徴的な欄干も見える。残念ながら大岡川名物の桜はまだこれから。護岸に蛎殻がへばりついていて、満潮位はあそこまでとわかる。満潮時にはこの船は、あの橋の下をくぐるのだろうか、と余計なことを考える。南太田付近で折り返し、自動車道手前を右折し、県警裏を通り、象の鼻へ。途中で右側を注視。一瞬だけ「横濱三塔」が見える場所があり、稲垣キャプテンが教えてくれました。



象の鼻パークにて全参加者

(帆船日本丸友の会会報より転載)

上陸後はすぐに波止場会館で懇談会。元日本丸キャプテンの戸苅清氏にお話を伺う。戸苅氏は帆船日本丸より若干年長の88歳。旧制中学を繰上卒業し、清水の商船学校3期生となり、卒業後は航海訓練所の職員として多くの船に乗り、大成丸、銀河丸、日本丸の船長を務められたとのこと。



波止場会館にて戸川元キャプテンとの座談会

(帆船日本丸友の会会報より転載)

戦後の帰還輸送に携わった話が印象的でした。日本丸を横浜に誘致した際のお話も伺いました。そして参加者からの質問が多数。

その後懇親会。感謝会の時と違って名札がないので、私にはどの方が誰だかわからないのですが、友の会メンバーはお互いに顔見知りのよう。鳥海氏が気を遣ってくれて、何人かのメンバーとお話をしました。ビール、唐揚げ、ソーセージ、ポテトフライ、チーズ+クラッカー等をたらふく食べ、仕上げは会場のSALA特製のカレーライス。そして抽選会。帆船模型、帆船絵はがき、「横浜港ものがたり」、海の時刻表、ラベンダの花束をいただきました。

帆船ではないですが、クルーズを楽しみ、戸苅氏のお話を伺い、友の会の方とお話をし、おみやげを貰い、楽しいひとときでした。

唯一残念だったのは、「歌いませんか」と声をかけられたのに、パートバランスが悪く、披露できなかったこと。今後はパートを揃えての参加が必須と思った次第。

(2017/03/20 山路記)

事務局より

皆さんから原稿を沢山頂いていますが編集者の能力不足で渋滞しています。寄稿していただいた方には申し訳ありませんがもう少しお待ちください。(鶴野)